

科目名	教育実習（幼稚園Ⅰ）		担当教員	由田 新・金 瑛珠・小久保 圭一郎 石井 章仁・片川 智子		
			担当形態	クラス分け		
テキスト	教育・保育課程論（萌文書林）	単位数 授業形態	1単位 実習	開講時期	通年	
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標■</b>          入学後すぐからの子どもたちとかかわる体験、そしてその体験から感じたことや考えたことの話し合いを重ねていきます。その後、以下を目標に6月から1月まで約7回の実習に取り組みます。</p> <p>(1) 幼稚園教育の理解          幼稚園の一日、生活やあそび、保育者の援助など幼稚園教育の実際を知る。</p> <p>(2) 子どもの育ちを知る          継続して子どもと生活を共にし、あそび、かかわる中で、3歳から6歳までの子どもの育ちを知る。</p> <p>(3) 保育の流れと援助のあり方を知る          約一年間を通した、子どもの育ちと共に展開される保育の流れと援助のあり方を知る。</p> <p>(4) 保育内容・環境構成について知る          生活やあそび、活動を通して子どもが体験する保育内容に関心をもち、その意味を考える。また、そのような体験を保障するために、保育者が願いを寄せて構成する環境について知る。</p> <p>(5) 保育者の職務を知る          保育者の仕事に目を向け、保育時間内での子どもや保護者とかかわり以外の職務の内容を知る。</p> <p><b>■授業のテーマ及び概要■</b>          入学してすぐに子どもたちとかかわりが始まります。そこで学んだことを生かしながら、6月からの実習へと進んでいきます。実習先となる幼稚園は、千葉明德短期大学附属幼稚園の他、実習に協力して下さる県内の幼稚園です。長期間に渡り同一園で学ばせていただき、子どもと担任保育者と生活を共にし、関わりながら学んでいきます。「子どもが好き」「子どもとあそんで楽しい、困った」などという気持ちを大切にしながら、保育の世界の奥深さ、難しさも含んだ魅力に触れていきましょう。なお、実習は一日限りのものではなく、その振り返りが必要不可欠です。そのため、実習の各回には必ず実習レポートを記すこととなります。</p> <p><b>■授業計画■</b>          第1回（6月）：一日の参加実習          第2回（7月）：一日の参加実習          ※園行事に参加（お泊り保育や夏祭り、運動会等）          第3回（9月）：一日の参加実習          第4回（10月）：一日の参加実習          第5回（11月）：一日の参加実習          第6回（12月）：一日の参加実習・部分実習          第7回（1月）：一日の参加実習</p> <p><b>■準備学習■</b>          ・保育内容演習各授業や、その他の授業などを通して、「こうしてみたらどうだろう」「知りたい」「考えてみたい」という次の実習に向けてのねらいを確認して実習に臨みます。          ・実習後は必ず実習レポートを記し、指定された期日までに提出することが必要です。          ・その他、指定された準備学習を行います。</p> <p><b>■評価方法■</b>          実習への取り組み、実習レポートの期日までの提出は基本です。以上を評価の前提条件とし、事前事後の話し合いの様子、課題レポート等に基づき総合的に評価します。</p>						
参考文献	特になし	特記事項	実習日全ての出席と出席レポートの提出を単位認定の基礎条件とする。やむを得ず欠席した場合は補充する。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修	幼	教職に関する科目			
		保				